

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！

あの手この手

2011
1
月号

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

大和市民活動センター[拠点やまと] 第43号 2011年1月5日発行



幸せをお届けします
—うさぎ—



作品:「雪割り草」金子 寿

今号の表紙は金子 寿(ひさし)さんの作品 3回シリーズの2回目。

口に絵筆をくわえて描くことを勧めた「大和市芸術文化振興会」の小林三夫さんから「彼は身体障害者スポーツ大会のスラロームで優勝したことがある」と聞かされ、詩画と

ともに、前向きで活動的な生き方に勇気づけられます。金子さん自身「あきらめないで生きてきたから、いろいろな人に出会うことができた。『あきらめないでよかった』と思える日が必ず来る」と、語ってくれました。

気持ちも新たに つなげる“ひろがりのわ”を合言葉にスタッフ一同、はりきっています。

3月には登録団体、ボランティアさんと協働で国際交流フェスティバルに参加します。楽しいブース作りにあなたのアイデアをお待ちしています。

また、[拠点やまと]も次年度の事業計画を考える時期となりました。センターを利用する団体の皆さんのニーズを汲み取りながら、事業を展開していきます。今年もよろしく願いいたします。[拠点やまと会長 関根孝子]

<送付の際、同封されているご案内>

・第 37 回連続共育セミナー「健康と元気はちがう」のご案内



「センター」のシンボルツリー 大銀杏のひとりごと

秋から冬へ。イチョウの木は緑の葉から全部黄葉し、全部落葉する。季節の移動をこのダイナミックな姿で去年、人に伝えた。伝えることができた。今は枝のみ。春を待つ。

*「あの手この手」は大和市民活動センターのH.P.ではカラーでご覧になれます。

ボランティアのはじめの一步は、見学バスツアーから

市民活動課主催の「ボランティア見学会」を11/25(木)10時～16時に実施。「ボランティア総合案内所」を訪れた10人が参加。市役所5Fの会議室で移送サービスをしている2団体から活動の説明を聞き、市役所前の『だれでも広場』で車いす体験をしてから、バスで『しらかしのいえ』、『大和市民活動センター』を巡りました。

市役所前の『だれでも広場』では

「ケアびーくる」で活動をしている一組のご夫婦が、車いすを車両に乗せるのを実際にやって見せてくれ、参加者も体験しました。女性でもできる、ということがわかりました。



『自然観察センター・しらかしのいえ』では

ひとり暮らし老人のお宅に配食サービスをしている「とと・菜・とつ」のお弁当を食べ、『しらかしのいえ』のボランティアさんの案内で森を散策。しいたけの原木栽培や水辺に浮かぶカモや飛来してきている野鳥などの説明を聞きました。



カワセミもやってきます

『市民活動センター』では

“共有”を理念に[拠点やまと]が市民活動課と協働事業でセンターを運営していることなどを説明した後、浅見、今里さんにボランティア活動のきっかけなどを話してもらいました。ボランティアを必要としている団体からのアピールもありました。

【ボランティアを募集しています】

子育て支援「やまと虹の色」

お母さんが研修や学習できるよう、日中の2時間、地域の公共施設で乳幼児から低学年のお子さんの預かりをしています。子育ての経験を活かして、いっしょに輝きましょう。

「NPO法人WE21大和ジャパン」

リサイクルショップでの仕分け、お店番等のボランティアを募集しています。売上げでアジアの女性の自立を支援しています。

【ボランティアのきっかけは？】

・コメント1

定年後、地域社会で何ができるのか？市民活動課を訪ね、市民活動センターを知った。趣味と健康のための時間の他に、福祉介護のボランティアをやりながら、週一程度のセンター通い。まずは、培ってきた知識経験を基に地域にデビュー。自分に合う活動がきっと見つかると思っていて、気楽に外に出よう。(拠点やまと・浅見正明)

・コメント2

昨年のボランティア見学会から10カ月、週1回数時間のサポーターですが、いろいろなグループがあり、いろいろな活動をされていることに感動と好奇心でいっぱいです。沢山の知己を得、地域社会との交流に充実感を覚えています。(サポーター・今里鐵男さん)

県央・湘南地区の支援センターが大集合 初のNPO基盤強化セミナー開催 NPOパワーUPセミナー

～ITは運営に役立つサプリメント～

神奈川県とマイクロソフト(株)の協働事業に相模原・平塚・藤沢・茅ヶ崎・座間・綾瀬、そして大和市民活動センターが加わり、昨年10月31日(日)、12月11日(土)延べ120名の大きなIT活用講座が開かれました。

日頃の市民活動の中にITを駆使した効率のよい情報発信と共有を目指す内容でした。イベント、会議、アンケート、広報、プレゼンテーションなどに役立つ手順やIT媒体を全日に組まれたスケジュールで学びました。市民活動の支援としてIT活用が急速な勢いで広がってきている現状を知りました。

また、このセミナーの目的の一つに人材育成があります。今年1月21日(金)には受講した人たちが再度集ってその活動実践とIT活用の模擬講義をする予定です。当センターからは望月が行います。その成果を来年度の事業に反映していきますのでご期待ください。(関根)

*当センターからは以下の団体が参加しました。

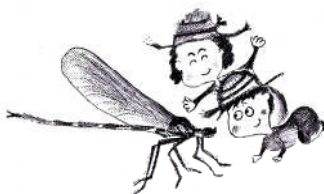
- ・NPO 法人地域家族しんちゃんハウス
- ・NPO 法人ピコピコ
- ・子育て支援「やまと虹の色」
- ・引地川下福田子どもの水辺協議会

「センター」のある日ある時

12月4日(土)晴れ

大和映像サロンの野田さんが来館。大和市観光協会主催の「ショート・ムービーコンテスト」に応募するDVD作品2点を見せてくれた。「ロケ地は大和」が応募条件。『かえって来たハグロ

トンボ』は引地川の清掃活動とハグロトンボの復活の様子を、『元気な街・谷戸頭』は平均年齢78歳の合唱団の活動を記録したもの。他のメンバーも応募するとか。ライバルは仲間だけ？



連続共育セミナー第(35)回を11/15(月)に開催しました

「プレゼントの文化って？」
～感謝祭からクリスマスへ～

厚木ベース渉外部の丸山さんと海兵隊のブライアンさんが
「トイズ・フォー・トツズ」<Toys for Tots>を紹介してくれました。



<トイズ・フォー・トツズ><Toys for Tots>とは>

US海兵隊員が10月～12月に子ども<Tots>のために玩具<Toys>を集めて、クリスマスの贈り物として分配するものです。この活動を支援するための自発的チャリティーイベントも全国的に行われます。

プレゼントする側の自主的なボランティア精神と見返りを求めない体制が大切だと感じました。(N. M)

大和市は外国籍市民の多い、またUSベースを抱えた特殊性があります。34人に1人が外国人市民と聞くと感覚的に分かる気もしますが、「多文化共生」と言われてもピンときません。寄付者のPRをしたり、恩をきせる、金額順に並べたりする昔からの風習は何か裏がありそうです。その態度が強ければ、受ける側も「恵んでなんか欲しくない」という態度をとりがちです。



連続共育セミナー(36)回を12/18(土)に開催しました

「知れば知るほどおもしろい大和市 part6」
～おいしい大和を知りたい～

昨年に引き続き大和市の推奨品を味わいながら、大和のことを語り合おう、という主旨で開催しました。みんなで楽しんだ後のひとことです。

ごちそうさま①

「元気会」として参加させていただき、ありがとうございました。大和市に名産品が思った以上にあるなど、思いました。ワインなど、お酒もおいしかったです。

ごちそうさま①②

新しい発見(初めて食べる食品)があり、よかったです。参加した人と有意義な意見交換ができました。「元気会」「珍満」のPR、ありがとうございます。

ごちそうさま③

普段、住んではいても意外と知らない大和の名品をまとめて味わうことができました。誇れるものがたくさんあると思います。貴重な機会をありがとうございました。

参加者が即興で一句

善き人の集う宴や冬銀河

南輪乃声「元気会」から白プリン、「珍満」からは Y-1 グランプリ受賞の「やわらかホルモン炒め」が届きました。

ごちそうさま④

にぎやかさと楽しい雰囲気、お互いになごんで、気楽にお酒を飲んで、食べて、楽しかったです。

ごちそうさま⑤

みんなで「大和はおいしい」を確かめ、大和の特産を育て作りだそうという、大和を愛する気持ちの表れと思いました。大和に日本酒の酒造、焼酎、ワインがあるとは知りませんでした。

<今日、おいしかったもの>

- ・中央林間 パウンドケーキ…イチジクのドライフルーツが大きく入っていて、しっとり生地と相性がとってもよい。
- ・珍満 やわらかホルモン炒め…ほんとにやわらか。食べやすいし、関節に良さそう。さすが、Y-1 グランプリと納得。
- ・元気会 白プリン…大和産の牛乳と生クリームが濃くておいしい。
- ・太田屋 チロラ…さっぱり味。でも肉の味が濃い。ソーセージみたいな、ハムみたいな、サラミみたいな感じ。
- ・メンチカツ…ボリュームがあって、とにかくうまい。
- ・ベルベ 豆パン…もちもちとしてさっぱりとした塩味で、おいしかったです。さっそく、買いたいと思いました。

テーマは「健康と元気はちがう」

日時:1月26日(水)18:00～20:00
場所:大和市民活動センター 会議室
ゲスト:Dr.増田愛一郎さん

(あいクリニック泌尿器科・皮膚科)

推薦人はFMやまとのジョニーさん

FMやまと『ドクターあい健康豆知識』毎週木曜日 8:20～(再放送:毎週月曜日 17:40～)に出演いただいている増田先生を紹介します。

増田先生は、「健康」に関してわかりやすくお話ししてくれます。先生が話されるときに心がけていらっしゃることは、私たちが「納得」できること。

皆さんは、ご自身の体や状態についてどれだけのことを理解しているのでしょうか? 誰かに相談したとき、ご自身が「納得」できる説明をうけていらっしゃると思いますか? もし、「健康」に関して「納得」できるお話を聞きたいと思われれば、ぜひ、あいクリニックを訪れてみてください。

(FM やまとパーソナリティ「あなたのジョニー」)

連続共育セミナー(37)回を開催します



増田愛一郎先生

増田先生と打ち合わせでお会いして、病気になるためには、日々の予防が大切であるとお聞きしたり、「私の年代になると、何もかも加齢のせいにするお医者さんが多い」との愚痴まで聞いていただきました。(拠点やまと・櫻井)

「センター」のある日ある時

12月28日(火)晴れ

「センター」の大掃除に米軍厚木基地から25人の若者が助っ人に。窓ガラス拭き、蛍光灯拭き、床のモップがけ、屋根・駐車場・歩道の落ち葉掃きと、実に楽しそうに掃除してくれた。2時間もかからずに「センター」の内外がすっかりきれいになった。次はどんな交流が生まれるか、楽しみです。

第116回 11/16(火)～安全で安心なものを家族に～

＜さがみ生活クラブ生活協同組合大和コモンズ＞

協同購入で、原材料から加工品まで自分達の手でキチンと確かめるため、工場見学や生産者との交流を行っています。班による配達では、いろいろな人との出会いがあり、コミュニケーションをとる中で、家族の愚痴や子育ての悩みなどの相談に乗ってもらったりして



います。地域に知り合いが、たくさんできたことは、生活クラブの活動に関わった副産物だと思っています。こんな現象は親子にとって、ありがたいことだと喜んでいますが、

第117回 11/30(火)～1人で悩むより友達同士で語ろう～

＜a wish＞

昨今の児童虐待のニュースを悲しいと感じて、今年7月にグループをつくりました。1歳足らずのみりあちゃんも会員の一人としてスタジオに入りましたが、放送中すぐにあきがきて、ママは立ったり歩いたりしながら出演。「お母さん同士が交流をしながら、子育ての大変さを語り合いたい」と話しました。リクエスト曲がかかると、パーソナリティのジョニーさんがあやし、いっしょに参加していた「くじらのしっぽ」の手塚さんがあやすと、みりあちゃんが手塚さんにほほずりをしたり、穏やかで家庭的な雰囲気番組は進んでいきました。みりあちゃんは放送終了後もみんなのアイドルでした。



第118回 12/7(火)～明るい豊かな街づくりをめざして～

＜(社)大和青年会議所＞

社会貢献、地域貢献といったボランティア活動を通して街おこし運動を行っている団体です。第1回の「Y-1



グランプリ」は慎重に企画を進め、当日は大人気で、街おこしの起爆剤になっているのではと感じています。また、大和に住むたくさんの外国籍の子どもたちの置かれた現状を、地域の方に知ってもらう講演会をひらいたり、環境問題を提起する「キャンドルナイト」を開催して好評です。

第119回 12/21(火)～「わが街大和」を好きになろう～

＜大和市フィルム・コミッション設立準備会＞

映画やテレビの撮影場所を誘致する活動を進めていく団体。大和には日常的なシーンを撮影できる場所がたくさんあります。街もいろんな角度から見ると、大和という街はこんなに素晴らしく魅力的な街なんだと感じると思います。みんなで「大和のいいところ探し」をして、自分の住んでいる街「大和」を好きになりましょう。



＜これからの出演団体＞

第120回 1/4(火)NPO 訪問相談所あてんぼ

第121回 1/18(火)NPO 科学探検隊

自立することに決めました。相談の幅を広げるためにファイナンシャルプランナーの資格を取ろう☆宣言すれば、本気になれるかな！？(関根孝子)

書道で2ランク上の準師範に挑戦、いまの健康を維持そしてセンター登録団体等と「新しい公共」を創造するため共育を図りたい。(浅見正明)

ぼんやりしているとどんどんものが増えていく現代の生活。今年は「断捨離」してダンシャリアンになってスッキリ生きたい！(中山みゆき)

なまけ者を返上して、何か運動をしたと思う。何の運動をして身体を動かそうか、考えているうちに1年が過ぎてしまうのかな？(櫻井貞代)

熱血編集後記

テーマは「今年チャレンジしたいこと」



絵:金子 寿

「好奇心、年中無休」。これを支えるのは身体の健康があつてこそ。去年は食べ物が入り口と出口がトラぶった。もうこれ以上なしね。(小杉皓男)

流行りにのるようで、ためらっていたツイッター。どうも人とつながりがつくれるツールらしい。つぶやいてみようかな。(村山真弓)

自分が家庭サービスの欠けた会社人間だとフト思う。そう思う頻度を増やす年にしたい。思うだけでも…女房には内緒で。(望月則男)

自分の俳句を“万葉かな”を使って短冊に書く。どの文字を当てようか、楽しみながら、ちょっと苦しみながら、言葉と文字遊びをしたい。(石川美恵子)

* 今号の用紙は若草色。今年はどうな活動の芽吹きがあるか、楽しみです。



大和市民活動センター[拠点やまと]が制作発行する 広報紙「あの手 この手」。

2011年1月5日付け1月号(第43号)をお届けします。

去年12月1日に発表された2010年の「新語・流行語大賞」(「現代用語の基礎知識」選)。どんな言葉があったか、覚えていらっしゃいますか。年間大賞は「ゲゲゲの」でしたが、トップ10のなかにひやりとする言葉がひとつありました。

「無縁社会」。

NHK「無縁社会プロジェクト」取材班が受賞しました。

ちょうど1年前の1月、NHKスペシャルでオンエアされたのですが、「無縁社会」と対になる言葉もそのとき覚えました。それは「行旅死亡人」。死亡しても遺骨を引き取る人がいない。その数はNHKの調査によると、自殺者の数とほぼ同じ、年間32,000人もいるということでした。

ところで、去年10月から隔週で私は大和市地区社協の広報担当の方々を対象にした大和市社協主催企画「リーダーセミナー・広報紙作成のいろは」という講座全5回シリーズを担当しました。

地区社協とは「子どもたちの健やかで安全な生活を守ること、障害をかかえている方も共に生きる差別のない地域づくり、高齢者が生きがいをもって社会参加できる環境づくり、ひとり暮らしの高齢者の孤立を防ぐ等について、地域の住民の皆さんが話し合い、その解決に向けて住民でできることを考え、具体的に活動や事業を企画していく組織です。」とあります。(大和市社会福祉協議会のホームページより)

このなかにある「共に生きる」や「社会参加」や「孤立を防ぐ」という言葉は、先にあげた「無縁社会」とはおおよそ対極のところにある言葉です。言い替えれば、「無縁」ではなく、人をひとりにしない、人と人を「有縁」にしていくのが地区社協の仕事なのだと思います。

「広報紙セミナー」、第1回目の「お題」は「伝えるということ」でした。隣の席にたまたまいた方を5分間取材して、3分以内でその方を紹介する、自(じ)ではなく「他(た)己紹介」を試みました。その場にいるみんなに「なるほど。へえー、そんな人なんだ」と印象的にくっきりと、それこそその人のことを「伝える」言葉さがし。

待たれる広報紙とは、これを伝えたいという意志がちゃんとあり、言葉が紙面に生きいきと躍動しているはず。 「人」や「こと」をどこまで読む人に伝えられたか。つまり「伝えること」の意味は、読み手がその「人」や「こと」とつながっていくことなのですね。広報紙の役目は「人」と「こと」を紡(つむ)いで、たくさんの「有縁」をつくっていくことなのだと思います。

2011/01/05 記・[拠点やまと]広報係 小杉皓男

